

One Healthアプローチに基づく BLV/HTLV-I感染症における リンパ腫の診断と早期発症予測法の開発

～牛伝染性リンパ腫の現状と早期発症診断法の実践～

8月26日 (水) 16:00～17:30

※共同獣医学研究科委員会終了後
会場: 岐阜大学応用生物科学部C棟1階 102講義室



こない さとる

講師: 今内 覚 先生

北海道大学大学院獣医学研究院

感染症学教室 教授

北海道大学大学院国際感染症学院

学院長

牛伝染性リンパ腫は、牛伝染性リンパ腫ウイルス (BLV) の感染によって引き起こされる悪性リンパ腫であり、国内では牛の35%以上が感染しているとされる重要な家畜疾病です。しかし、発症機序には未解明な点が多く、発症予測法も確立されていません。今回ご講演いただく今内先生は、プロウイルス挿入部位の網羅的増幅法 (RAISING) を用いて、クローナリティ値 (Cv) が牛伝染性リンパ腫の高精度な診断・発症予測マーカーとなることを明らかにされました。さらに、RAISINGは牛伝染性リンパ腫と同様にHTLV-Iウイルスが原因となる成人T細胞白血病の診断・検査にも有用であることが示されており、「ヒトと動物の疾病は共通」という視座に立ったうえでも、大変有益なご講演をいただけるものと考えております。



登録締切: 8/17 (月)

【主催】岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 獣医臨床繁殖学研究室

【共催】岐阜大学高等研究院 OneMedicineトランスレーショナルリサーチセンター (COMIT)

岐阜大学応用生物科学部 附属家畜衛生地域連携教育研究センター (GeFAH)

【問い合わせ】担当: 坂口謙一郎 Email: sakaguchi.kenichiro.x3@f.gifu-u.ac.jp

※懇親会 (19時半開始予定) 人数確認のため、上記QRコードより参加登録をお願いいたします。

講演会は当日の飛入参加を歓迎します!